

救急医療情報キット

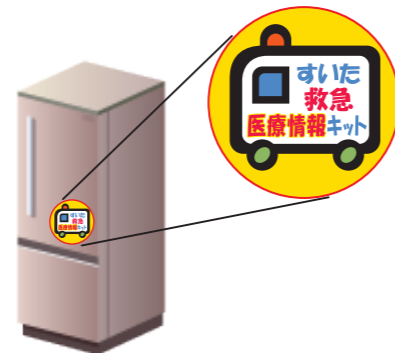
《救急医療情報キット》とは？

ひとり暮らしの高齢者等の安心・安全を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報や、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の緊急時に備えるものです。

「もしも・・・」のときに、かけつけた救急隊員がキットの情報を確認することで、適切で迅速な処置が可能となり、ご家族への連絡もスムーズに行えます。

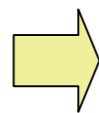
① 救急通報

救急車をお願いします



救急医療情報キットは冷蔵庫の中に入れ
扉にマグネットを貼りましょう

② 発見・確認



救急医療情報キットを発見



③ 搬送



情報提供



配布対象者

- ・ おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者
- ・ おおむね 65 歳以上の高齢者のみの世帯の者
- ・ 日中、一人になることがある、おおむね 65 歳以上の高齢者

なぜ冷蔵庫に保管…？

かけつけた救急隊員がすぐに救急医療情報キットを探し出す必要があります。そのための最適な場所が冷蔵庫です。ほとんどのお宅で冷蔵庫は台所にあるので、キットがどこにあるかすぐにわかります。

ステッカーの添付

マグネット式のステッカーを、冷蔵庫の扉（外側）※① に貼ってください。

シール式のステッカーは、玄関ドア（内側）※② に貼るものですが、必ず貼る必要はありません。

救急時に救急隊員がこのステッカーを確認して、キットが置いてあるか判断します。

※① 冷蔵庫の扉に貼っていない場合、キットが無いと判断されます。

※② 防犯のため、玄関ドアの外側に貼らないでください。



ご利用にあたって…

☆ステッカーが貼られている場合には、ご本人やご家族などの了承を得ることなく、冷蔵庫を開けて救急医療情報キットを取り出すことがあります。

☆救急時、必要に応じて救急医療情報キットを活用しますが、記載されている希望などに添えない場合があります、また、活用されない場合もあります。

☆「かかりつけの医療機関」以外の病院に搬送される場合があります。

☆救急医療情報シートの内容に変更があったときには、随時各自で更新してください。古い情報のままだと、適切な対応ができなくなります。